

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一般質問の通告について

令和5年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 新年度予算について	<p>【趣旨説明】</p> <p>令和4年度は、終わりの見えない感染症の対策とウクライナ侵攻や円安などによる物価の高騰や電気・ガスなど燃料費の高騰によって、私たちの暮らしは圧迫された我慢の多い年でした。</p> <p>令和5年度は、感染症にも収束の兆しが見え始め、物価の高騰は続いているものの、人のにぎわいを取り戻していくように感じます。</p> <p>本町においても、靱山町長が「勢い」というキーワードを掲げられた新年度予算は、一般会計予算総額174億8,900万円という過去最大規模の予算となりました。</p> <p>大規模事業の継続や着工と共に、新規事業も多く、町長の公約である、小中学校体育館のエアコン設置工事も実施される予定となっています。</p> <p>また、子ども医療費が18歳まで対象拡大される事や、重層的支援体制整備事業の本格実施により、さまざまな問題を複合的に抱えたご家庭に対する、連携した相談体制が構築されるなど、ハード面ソフト面共にまさに勢いのある予算であると思います。</p> <p>そこで、新年度予算について、以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 「ゼロカーボンシティ」に向けた新規事業には、何がありますか。</p> <p>② バランスと持続可能な財政運営を心がけた点はどのような事ですか。</p> <p>③ 絆予算とした事業は何ですか。</p>

2. 障がい者居住支援について

【趣旨説明】

厚生労働省において、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がいのある方が安心して地域で生活できる支援体制の構築に向けて「地域生活支援拠点等の整備」を推進しています。

地域生活支援拠点等については、緊急時の迅速・確実な相談支援の実施や短期入所等の活用を可能とすることにより、地域における生活の安心感を担保する機能を備えるとともに、体験の機会の提供を通じて、施設や病院、親元からグループホームや一人暮らしなどの生活の場へ移行をしやすくする支援を提供できる体制を整備したりすることなどによって、障がいのある方の地域生活を支援することを目的としています。

具体的には、地域生活支援拠点等が備えるべき機能として、居住支援のための5つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を掲げています。

また、地域生活支援拠点等については、自治体が定める第6期障害福祉計画（令和3年度～5年度）に係る国の基本指針において、「地域生活支援拠点等について、令和5年度末までの間、各市町村又は各圏域に一つ以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、その機能の充実のため、年一回以上運用状況を検証及び検討することを基本とする。」としています。

本町の「第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」において、「地域生活支援拠点等の整備」についての実績として「地域生活支援拠点等について、地域の実情に即した運用ができるように体制整備等の充実に努めることを目標として設定し、体験的宿泊事業及び緊急一時的宿泊事業により、地域生活支援拠点等の機能強化を図った。」とあり、

また、目標として、「地域生活を希望する方の移行が円滑に進むように関係者と協力しながら事業者に働きかけ、グループホーム等の確保に努める。」とあります。しかしながら、住民の方から、親である自分が高齢になってきた。身体障がい者用のグループホームが町内になく、子どもの先行きの不安を訴えるお声を聞きました。

一方、障がいのある方が働く場として、昭和58年に開所し、現在も多くの方が利用されている多賀授産所の老朽化が著しく、雨漏りやトイレ不足の状態にあります。

多賀授産所では、「地域移行のための安心生活支援」として、緊急一時的な宿泊や地域での一人暮らしに向けた体験的宿泊を提供するための居室を確保する「体験的宿泊事業」が、昨年12月から始まったと聞いております。「親亡き後」、障がいのある方が安心して地域で生活できる支援体制のため、以下質問します。

【質問事項】

- ① 本町における、地域生活支援拠点事業について、現在どのような状況ですか。また、ニーズの把握はどのようにされていますか。
- ② 多賀授産所の老朽化やトイレ不足など、現状をどのように認識されていますか。
- ③ 多賀授産所の体験的宿泊事業について、体験内容と利用状況は、どうでしたか。
- ④ 障がい事業所が緊急時の受入れ先として期待されている中、多賀授産所の設備を整備する必要があると考えますが、いかがお考えになりますか。
- ⑤ 「第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」の目標として、「グループホーム等の確保に努める。」とありますが、具体的には、どのような取り組みをしていきますか。